

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市立総合体育館		
施設概要	【所在地】 町田市南成瀬5-12 【開設年月】 1990年10月 【開館日時】 第1・3月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く日 / 午前9時～午後9時 【施設面積】 10,389.47㎡ 【施設内容】 メインアリーナ(2,400㎡)、サブアリーナ(1,100㎡)、小体育室、武道場(2室)、和洋弓場とトレーニング室等を有した体育館		
設置目的	市民のスポーツ及び体力づくりの推進を図り、もって市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。		
設置根拠法令・条例	町田市体育施設条例		
所管部課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課	問合せ先	042-724-4036
施設ホームページURL	https://www.machida-taikukan.com/		

(2)指定管理者

指定管理者名	<スポーツでつなぐまちだパートナーズ>コナミススポーツ株式会社・ミズノスポーツサービス株式会社・株式会社東急コミュニティー・株式会社CASCAVEL FUTSAL CLUB共同事業体	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表団体 コナミススポーツ株式会社) 東京都品川区東品川4-10-1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)運営業務…各施設の貸し出し及びトレーニング室等の提供、各競技団体等と連携・協力し、競技大会を開催する。 (2)施設、附属設備及び物品の維持管理業務…施設の修繕(1件あたりの予算金額が40万円未満のもの)や保守点検、清掃、警備等の業務を行う。 (3)事業の実施…スポーツの振興及び施設の有効活用を図るための事業を実施する。 (4)利用者に対するサービス提供事業の実施…売店・物品販売・自動販売機等、利用者のサービス向上を図るための事業を実施する。 (5)その他の業務…市への報告業務や利用者アンケート等を実施する。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
市民の誰もがスポーツを楽しめる施設づくり 「開館時間の延長」、「トップアスリートイベントの開催」	2022年度	・開館時間の延長は、継続して効果を検証中 ・トップアスリートイベントは、2019年度・2020年度・2022年度に実施済
地域を活性化させる施設づくり 「ホームタウンチームとの連携」、「パブリックビューイング開催」	2021年度	・各種イベント等において、ペスカドーラ町田による、フットサルやチャイレーディング教室等を実施済 ・パブリックビューイングは、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止を決定
スポーツ推進拠点にふさわしい機能を備えた施設づくり 「施設内サインの見直し」、「トレーニング機器の更新」、「ロッカーの更新」	2019年度	全て実施済

3. 昨年度の課題

内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、安全・安心に施設を利用できる環境づくりを進めるとともに、予約の無い時間帯の居室を利用した教室事業の展開や柔軟な施設貸出し等、施設の有効活用に向けた取り組みが必要である。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	2022年度は、年度当初の計画どおり、子どもの日のイベントである「こどもスポーツチャレンジ2022」や「チャレンジマッスル2022」を開催し、企画・実施に取り組んだ。あわせて、民間事業者のノウハウを活かし、人気の高い筋力トレーニング系プログラムである「レズミルズイベント」を実施したほか、トップアスリートによるバレーボールのビクトリークリニックを実施するなど、幅広い世代に向けて、身近にスポーツを「する」機会を創出したことは評価できる。また、教室事業にあっては、これから運動を始める初心者向けのプログラムを充実させ、開放事業及び公開指導にあっては、2021年度と比較して、実施事業数を増やすなど、身近にスポーツを「する」場を積極的に提供した。2021年度から継続して取り組んでいる、SDG'sの活動である「プロギング」では、参加者と一緒に運動をしながら、施設周辺地域の清掃活動を行っている。この取り組みは、参加者のみならず、近隣住民からも好評を得ており、施設と地域との繋がりをより強くするための活動となっている。その他、利用者サービスの向上と予約の無い時間帯の居室の有効活用を図るため、会議室にスループネットピンポン台を製作・設置し、利用団体に貸し出しを行うとともに、イベントにおいても専用ブースを設ける等、パラスポーツの普及・啓発にも取り組んでいる。大会や専用利用にあっては、市民大会をはじめ、フリーグやVリーグ等の実施に寄与したほか、ブラインドサッカー日本選手権や新日本プロレス等の大規模な大会やイベント等の開催にも積極的に尽力し、コロナ禍で減少した施設利用者数の回復や賑わいの創出に努めた。他方、市のワクチン集団接種会場として、小体育室を約4か月提供したことによる大会中止の影響等もあり、施設利用者数は目標値を約13万人下回る結果となった。今後も継続して、魅力ある事業を展開し、施設利用者数、利用率の向上や賑わいの創出に努められたい。加えて、本施設は、建設から30年以上が経過しており、建物や設備の老朽化が顕著な状況であるため、施設の利便性の低下により、施設利用者数や利用率の減少が生じることのないよう、引き続き、市と連携・協力しながら、民間事業者のノウハウを生かした施設の適切な維持・保全を図られたい。これらを考慮し、総合評価を「B」とする。

【評価対象年度 2022年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>新型コロナ感染症拡大防止対策により、市のワクチン集団接種会場として、小体育室が約4か月間使用できない時期があったものの、保健予防課と連携・協力することで、施設内に大きな混乱もなく運用することができた。また、施設運営に際しては、2021年度に引き続き、新型コロナ感染症拡大防止対策として、館内入館の際の検温・手指消毒・マスク着用のルール化、飛沫防止塩ビシート設置を行う等、十分な対策を講じながら、国や都の要請に基づき、段階的に制限を解除する等、安全・安心・快適に施設を利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>2021年度に比べ、大会開催数は増加傾向を示したものの、まだ、観覧者を制限している大会等も多く、施設利用者数や利用率の回復は緩やかな状況となった。その中であっても、ロビーの休憩スペースや大会利用時のアリーナ観覧席での飲食の制限を解除する等、柔軟な施設運営に努めた。(大会開催数:559大会、前年比 191大会増加 / 大会参加・観覧者数:113,800人、前年比 67,386人増加)</p> <p>スポーツ振興事業である公開指導では、運動初心者でも参加できる新たな教室を3つ増加させ、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会を創出した。また、施設の継続利用を促すための取り組みとしては、受付横にレンタルロッカーを設置・運用を始めたところ、トレーニング室利用者、弓道場利用者や団体利用者等、幅広い需要があり、稼働率は高水準となっている。その他、各居室の稼働率向上の取り組みとして、受付前の予約状況モニター付近に1週間の空き状況を一目で確認できるよう、掲示物を設置したことにより、次週の利用予約の円滑化に繋がった。</p> <p>大会等における、ごみ処理に関して、施設内全体で周知が出来ていることや分別を適切に行っていること、さらには、SDG's活動としてジョギングとごみ拾いを組み合わせたニュースポーツである「プロギング」による、地域清掃活動を定期的の実施していることが評価され、「準まちだ3R賞」を受賞することが出来た。今後も、継続的にプロギング等の取り組みを通じて、地域活性化やスポーツ振興に努めていきたい。</p>
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査期間】 2022年11月8日～2022年11月14日(7日間)</p> <p>【配布枚数】 971枚</p> <p>【回収枚数】 761枚</p> <p>【回収率】 78.4%</p> <p>【調査方法】 来館者全員に配布し、回収箱への投函またはフロントにて回収</p>
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	スタッフの接遇や設備及び清掃において「大変良い・良い」と評価した人の割合(平均値) A: 85%以上 B: 70%以上～85%未満 C: 70%未満	85%	96.4%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	85	85
実績値	94.5	95.7	96.3	96.4	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用者数	A: 500,000人以上 B: 480,000人以上～500,000人未満 C: 480,000人未満	436,000人	305,892人	C	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	530,000	425,000	430,000	436,000	550,000
実績値	450,627	187,855	228,822	305,892	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用率	アリーナ、小体育室、武道場、和洋弓場の平均利用率 A: 95%以上 B: 85%以上～95%未満 C: 85%未満	94%	91.6%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	92	93	94	95
実績値	91.8	84.2	91.5	91.6	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者アンケート調査において、スタッフの接遇や施設の衛生面に関する利用者満足度は、年々増加しており、目標値を11.4ポイント上回る結果となった。他方、施設利用者数は、2021年度と比較して、約7万7千人増加したものの、市のワクチン集団接種会場として一部居室を提供したことや各種大会の人数制限の影響等により、目標値を約13万人下回る結果となった。また、施設利用率は目標値には至らなかったものの、要求水準を達成した。これらを考慮し、サービスの質に関する総合評価を「B」とする。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用基準に沿った施設の提供	基準書の基本方針を理解し、施設の提供が行われている。	業務基準書の基本方針に基づき、必要に応じて市と協議するなど、適正に運用している。	適
	平等・公平な施設の提供	不当な優先利用が行われていない。	年間の優先予約以外の大会等を誘致する場合は、必ず市と協議し、承認を受けている。	適
施設管理運営方針	設備機器の安全管理	法令及び基準書を遵守し、点検等の実施及び処置が行われている。	業務基準書に基づき、施設や設備の点検等が行われていることを、月次・年次報告書にて確認した。	適
	業務記録・報告書類等の整備及び保管	業務記録・報告書類等を整備し、適切に保管されていることが確認できる。	施錠された書庫に、適切に整備ならびに保管されていることを現地調査にて確認した。	適
情報公開・個人情報保護	適切な取扱	施錠された書庫で保管されている。マニュアルが整備されている。	現地調査により、マニュアルの整備及び適切な保管状況を確認した。	適
	研修の実施	研修対象:全職員 頻度:年1回	個人情報保護(年2回)、ITセキュリティ(年4回)について、全職員がeラーニングを受講していることを受講記録で確認した。	適
要望対応	苦情・要望等のデータベース化	職員間の情報共有、市への報告が行われている。	館内掲示にて職員間、利用者への周知をするとともに定例会議、月次報告にて市への報告を実施している。	適
	事故・トラブル防止のための備え	対応マニュアルの作成及び職員への研修が行われている。	マニュアル整備ならびに定期的な研修を実施している。	適
危機管理	災害や防火・防犯、安全管理への備え	危機管理マニュアルの作成及び研修や訓練が実施されている。	マニュアルの整備のほか、消防訓練や年2回の危機管理訓練を実施していることを定例会議で確認した。	適
	各種保険の加入	基準書に沿った保険の加入が行われている。	証書にて、業務基準書に示された、補償額を満たす保険に加入していることを確認した。(対人補償:3億円、対物補償:4億円)	適
人的安定性	職員配置	基準書に沿った職員配置がされており、必要な資格を有している。	事業報告書、資格証明書及び職員シフト表により、適切な配置と運用を確認した。	適
	職員研修	職員の指導育成のための研修を実施している。	定期的に各種ライセンスの講習会を実施するほか、社員による実技研修、eラーニングを実施している。	適
管理経費の縮減	事業経費の妥当性	参加料の徴収等、適切な経費見積もりがされている。	利用者への影響に配慮し、前指定管理者と同等の参加料の徴収となるよう調整している。	適
	管理経費の縮減	管理経費縮減のための方策が図られている。	可能な範囲で自己修繕に努める等、管理経費縮減に取り組んでいる。	適
地域貢献	地域との交流	地域、関係機関等との交流が図られている。	地区懇談会への参加や地域住民とともにスポーツと清掃活動を融合したプログラミングを実施したことを事業報告書で確認した。	適
	市内業者の活用	市内業者の活用が図られている。	工事や修繕等は可能な限り、市内業者の活用に努めていることを事業報告書で確認した。	適
体市及び連携団	競技団体との連携	各種の競技大会を開催している。	各種競技団体と連携・協力し、競技大会を開催していることを事業報告書で確認した。	適
	市との連携	適宜連絡会を開催している。	月2回の定例会議の開催に加え、適宜連絡・調整に努めている。	適

【評価対象年度 2022年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年2月15日に町田市立総合体育館にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年2月15日に町田市立総合体育にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	現場調査及びヒアリング、ならびに日報や事業報告書において、要求水準を満たしていることを確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	241,092	241,092	243,304	243,304	243,304	243,304	243,304	260,160	243,304	
	体育施設利用収入	65,600	63,734	67,371	34,173	69,362	40,911	70,400	54,087	71,810	
	スポーツ振興事業収入	15,246	6,954	15,541	1,574	16,009	4,220	17,445	7,103	18,627	
	利用者サービス自主事業収入	12,658	10,412	13,106	6,130	13,523	8,599	13,578	12,347	14,415	
	駐車場収入	32,139	26,405	33,013	12,620	33,674	16,738	34,348	21,046	35,035	
	その他	9,469	719	9,652	10	9,846	1,970	10,043	2,608	10,244	
	計	376,204	349,316	381,987	297,811	385,718	315,742	389,118	357,351	393,435	0
支出	人件費	104,318	88,767	107,012	82,910	109,588	87,849	112,241	88,741	114,975	
	管理費	250,449	216,323	252,920	200,564	253,568	206,533	254,169	239,186	254,823	
	スポーツ振興事業費	8,779	7,353	8,949	7,204	9,039	8,932	9,130	11,165	9,222	
	利用者サービス自主事業費	9,690	6,947	9,868	4,316	10,050	7,257	10,234	1,401	10,422	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	373,236	319,390	378,749	294,994	382,245	310,571	385,774	340,493	389,442	0
総計(収入-支出)		2,968	29,926	3,238	2,817	3,473	5,171	3,344	16,858	3,993	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	-3.2	-27.4	-5.8	-5.5	
負債比率	77.2	457.6	487.9	762.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	<p>(1) 指定管理料は物価の高騰等に伴い、当初想定していた光熱費の不足が見込まれたため、事業提案書に基づく提案金額との差額分を増額した。施設利用収入や自主事業収入等は、2021年度と比較し、増加している。また、民間事業者のノウハウを活かした管理経費の削減等に努めた結果、収入が支出を上回っている。</p> <p>(2) 2022年度のコナミスポーツ株式会社の経常利益率や負債比率の悪化については、新型コロナウイルス感染症拡大により、根幹である直営のスポーツクラブ運営事業の落ち込み等に伴う影響を受けたことに起因しているが、2022年度の後半には新たな受託事業や新規事業の拡大も見られることから、今後の財務状況を注視していく必要がある。 なお、コナミスポーツ株式会社はコナミグループ株式会社の連結子会社で、財務関係のバックアップ体制が構築されている。</p>